



研修会で考えた授業案を発表する参加者

(特非) ACE

# インドのコットン栽培における 環境・人権課題及び環境に配慮した 活動に関する普及啓発活動

一般助成

2年目

知識の提供・  
普及啓発

ワークショップ、  
イベントの参加者 1,561人

インド現地視察ツアー  
の参加者 7人

活動の全体目標に  
対する達成度 55%

## 課題

先進国の消費・企業活動が一因となり、インドのコットン生産地では遺伝子組換え品種、過剰な農薬の投入などによる土壌の質低下や生産者の健康被害・人権侵害が起きている。

## 活動内容

日本での消費行動や企業のとる行動に変革を起こし、オーガニックやフェアトレードコットン製品等の環境や人権に配慮した持続可能な消費やビジネスが浸透するように、環境教育活動や倫理的な消費の啓発、普及活動を行った。具体的にはコットンの生産地で起きている環境・人権課題を伝え、問題解決のための行動を呼びかける教材を使ったワークショップやイベントの実施の他、教材の普及活動や現地ツアーを実施し啓発活動の担い手を育成した。



インドのコットン生産地を  
訪れるツアー参加者

## 今後の課題

- イベント参加者数等の実施目標を成果目標につなげられるよう、実際に行動を促す仕組みづくりを行う。
- 日本国内のみでなく、国際的な場からも働きかけを行い、企業の行動変革を目指す。

## 成果と工夫した ポイント



### 成果

- ・教員など65人が研修会に参加し、そのうち11人から授業等での活用を行ったとの報告を受けた。
- ・スタディツアー参加者4名が企業内報告会、自団体のSNS、ACE主催の報告会を通じて情報発信を行った。

### 工夫

研修会参加者が実践しやすいよう、授業での活用事例の紹介や授業案を考えるグループワークを行った。